

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第9回武蔵村山市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成26年8月18日(月) 午前10時00分～午後12時00分
開 催 場 所	中部地区会館403集会室(武蔵村山市役所4階)
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：佐々委員(会長)、布田委員(副会長)、志茂委員、乙幡委員、篠崎委員、安彦委員、大友委員、染谷委員、齊藤委員、藤沢委員 欠席者：増田委員、小幡委員 事務局：田代子ども家庭担当部長、乙幡保育課長、古川保育グループ主査、佐藤保育グループ嘱託員、荻野児童館長
議 題	議題 (1) 妊婦健康診査等について (2) (仮称)武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画について
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1. 妊婦健康診査等について ・養育支援訪問事業について、平成22～23年度の訪問延べ件数(家庭数)の実績値を調べ、計画策定の最終段階までに入れる。 議題2. (仮称)武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画について 第1章 ・計画(案)5ページ：不足している関連計画があるので、加えたものとそれぞれの計画を正式名称に直したものを次回会議で提示 第2章 ・意見一覧1ページのNo. 4「0～5歳人口の推移」の表の年次の表記を統一する。 ・意見一覧1ページのNo. 7及び計画書中の出典資料の表記について、武蔵村山市第四次長期総合計画と整合を図り、「出典 ○○資料」といった表記で統一する。 ・計画(案)19ページの体裁を整える。 ・20ページから43ページの斜体文字を通常文字にして目立たせる。 ・意見一覧1ページのNo. 11について、「学童クラブの利用時間」(調査報告書57ページ)を掲載する。 ・意見一覧2ページのNo. 12について、「学童クラブの利用時間」(調査報告書58ページ)を掲載する。 ・意見一覧2ページのNo. 13について、「休暇期間中の学童クラブの利用希望の有無」(調査報告書61ページ)を掲載する。 ・意見一覧2ページのNo. 14について、「平日の学童クラブの利用量」(調査報告書95ページ)を掲載する。 ・意見一覧2ページのNo. 15について、「休暇期間中の学童クラブの利用希望の有無」(調査報告書102ページ)を掲載する。 ・意見一覧2ページのNo. 16について、数値のピリオドやカンマを半角にする。 ・意見一覧2ページのNo. 17について、「7月1日」を削除する。 ・意見一覧2ページのNo. 18について、「ファミリー・サポート・センター」と修正する。 第3章 ・意見一覧2ページのNo. 31事故対策について、確認が取れ次第報告する。

- ・計画（案）55ページ：教育費の負担や地域の子育て支援の減少など、具体的事項について記載する。
- ・計画（案）58ページ：「⑤支援が必要な子どもと家庭への取り組み」の後ろに「の推進」を追加
- ・意見一覧2ページのNo. 19について、計画（案）55ページの「まち全体で子育て家庭を支え」を「社会」にするか「まち」のままにするか、事務局で検討する。
- ・意見一覧2ページのNo. 21について、計画（案）56ページの基本目標2の本文2段落目を、58ページ基本目標2の施策の体系と合わせて「小児医療」についての記載に修正する。
- ・意見一覧2ページのNo. 22について、59ページから63ページの表頭の「No.」を「項目番号」に修正する。
- ・意見一覧2ページのNo. 23について、「保育園」を「保育所」に修正する。
- ・意見一覧2ページのNo. 24について、「本市の状況」の「交通事情」の部分を削除する。
- ・意見一覧2ページのNo. 25アレルギーのある子どもの栄養指導について、事業内容の記載を検討する。またアレルギーを持っている子どもに対する安全な学校給食の提供について、各学校の対応を把握し、新規事業とするか、別事業の内容に付け加えるかを検討する。
- ・意見一覧3ページのNo. 27について、第4章（資料5、5ページ）「(4)児童の健全育成」に「子どもの健全育成サポート事業」を、新規事業としてこの中に掲載する
- ・意見一覧3ページのNo. 28ハザードマップと危険回避の情報について、登録の件数や世代について、秘書広報課に確認する。
- ・意見一覧3ページのNo. 28～30について、第4章（資料5、20ページ）「4-2安心・安全なまちづくり」に「防災情報マップ事業」、「情報提供サービス事業」、「子ども110番ハウス」、「防犯プレートの配布事業」について掲載する。
- ・意見一覧3ページのNo. 31について幼稚園、保育園、小学校それぞれで過去5年から10年間の事故の分布とその事故の対応方策を確認する。

第4章

- ・意見一覧3ページのNo. 40：資料5、15ページの89項「市立学校校内研究奨励事業」の昨年度と今年度の研究課題について確認する。
- ・意見一覧3ページのNo. 43：資料5、15ページの92項「適応指導教室」で訪問があるかどうかを確認する。
- ・意見一覧3ページのNo. 49：資料5、17ページの99項「青少年健全育成講演会」の内容について確認する。
- ・意見一覧3ページのNo. 59：資料5、24ページの131項「養育家庭への支援活動のPR普及」について、養育家庭は里親などか、武蔵村山市にはどの程度の数の養育家庭があるかを確認する。
- ・意見一覧3ページのNo. 60：資料5、26ページの137項「特別支援教育支援員」は要請に応じて人数が増えるかどうか確認する。
- ・意見一覧3ページのNo. 61：資料5、26ページの138項「特別支援学級」は要請に応じて人数が増えるかどうか確認する。
- ・資料5、16ページの95項「幼稚園、保育所及び小学校との連携」について、計画に盛り込むための方策を次回会議までに提出する。

<p>審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)</p>	<p>1 開会</p> <p>○佐々会長よりあいさつ。</p> <p>(佐々会長) これから先、新制度のもと新たに自治体として実施する事業について、その後の事業の進捗の状況などは、見守っていかなくてはならない。それは自治体のみではないが、いま事業を進行させていこうとしているときに、関係している部署のそれぞれの人が、その後の推移を見ていくことは、必要なことだと思っている。</p> <p>最終的なまとめの段階に入ってきているので、細やかなところのチェックや意見をもらって修正を加え、合意をいただいて策定していくこととなるので、よろしく願いたい。</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 第8回子ども・子育て会議の会議録について</p> <p>○事務局より、第8回子ども・子育て会議の会議録について説明が行われた。※資料1</p> <p>(事務局) 修正等があれば8月25日(月)までに事務局へ連絡いただきたい。</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 妊婦健康診査等について</p> <p>○事務局より、妊婦健康診査等について説明が行われた。※資料2、資料3</p> <p>(事務局) 前回会議において妊婦健康診査の回数を17回と説明したが、15回と訂正させていただきたい。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>(委員) 資料3の2関係団体の8に武蔵村山市医師会があるが、歯科医師会は入らないのか。</p> <p>(事務局) 今後ご審議いただく子ども・子育て支援事業計画の事業のなかで関係してくるものの代表的なところを明記した。</p> <p>(会長) 入れないということか。</p> <p>(事務局) 事業計画の中に関係機関・関係団体を入れるのであれば、歯科医師会を含めて、資料3に相当する内容を計画書に入れたと考えている。</p> <p>(佐々会長) 市民との協働を考えると、医師会はかなり大きな比重を持つ。そういったことでは必要ではないか。また、資料2、3ページの3、養育支援訪問事業の訪問延べ件数実績が、平成21年度から平成23年度まで不明ということで記載されていない。何年度から子ども家庭支援センターに委託しているのか。</p> <p>(事務局) 平成22年度からとなっている。</p>
---	---

(佐々会長) 実績が不明というのはおかしいのではないか。実績的に国から補助金が出ているとすると、不明のまま補助金をもらっていることはあり得ない。最終段階でも構わないので、数値は探して入れていただきたい。

(事務局) 再度確認の上、計画策定段階では数字を入れるようにしたい。

(2) (仮称) 武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画について
※資料5、前回資料5 (仮称) 武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画 (案) に対する意見一覧

・第1章「計画の概要」について

○事務局より、第1章「計画の概要」について、意見に基づく修正の説明があった。

(事務局) 計画 (案) 5ページについて、不足している関連計画があるので、加えたものとそれぞれの計画を正式名称に直したものを次回会議で提示させていただく。

【質疑応答】

(佐々会長) 最終的な文言の統一は事務局に任せたい。

・第2章「子ども・子育てに関する現状等」について

○事務局より、第2章「子ども・子育てに関する現状等」について、意見に基づく修正の説明があった。

(事務局) 計画 (案) 14ページの「0～5歳児人口の推移」の表において、左端の年次の表記が13ページの表などと異なっていたため、表記を統一する。また、15ページの「婚姻・離婚件数の推移」の表の出典資料として「資料：東京都総務課」とあるが、表の出典の表記については、武蔵村山市第四次長期総合計画と同様に表すということで統一を図らせていただきたいと考えている。同計画に従ってここでは「出典 東京都〇〇局資料」と記載させていただき、計画書全体で「出典 子育て支援課資料」「出典 国勢調査」というように表記を統一させていただく。

【質疑応答】

特になし

・第3章「計画の基本的な考え方」について

○事務局より、第3章「計画の基本的な考え方」について、意見に基づく修正の説明があった。

(事務局) 意見一覧2ページのNo. 31事故対策について、幼稚園・保育園・小学校でそれぞれで、過去5年または10年間の事故の分布とその事故の対応方策はどうなっているかについての質問だが、これについては確認中である。

【質疑応答】

(佐々会長) 計画(案)55ページの「核家族化や女性の社会進出、教育費の負担などが考えられ、子育てをしていくこと」を削除したが、全部削除をする必要性はないのではないか。女性の社会進出を負の方に考えられていることが問題で、核家族化や教育費の負担を削除する必要があるのか。教育費の負担はこの地域で重く受け止められているので削除しなくてもいいのではないか。

(事務局) 教育費の負担については記載したい。

(佐々会長) 55ページの基本理念のところは全体構造を示すということになる。そういう意味でも、具体性を持った部分を一部でも入れておかないと、どういったことなのか推察しにくいことがある。教育費の負担といった具体的なことを入れたほうがいい。

(事務局) 教育費の負担が増していることと、昔に比べ地域による子育て支援が減少していることなどを記載したい。

(委員) 計画(案)58ページ、「⑤支援が必要な子どもと家庭への取り組み」の後ろに「の推進」が抜けているのではないかと。

(事務局) 57ページ、63ページには付いていて、58ページには欠落していたので、修正する。

(委員) 意見一覧2ページのNo.19について、計画(案)55ページの「まち全体で子育て家庭を支え」を「社会全体で子育て支援を支え」に修正するということだが、下の方で「社会の一員として」という文言もあり社会を尊重しているので、この部分では「まち」という温かみのある言葉の方がよいのではないかと。

(佐々会長) 基本理念の「みんなで子育て、支えあい、うるおいのあるまち武蔵村山」と謳っていることからすると、「まち」という言葉が入った方が、より理念的に伝わっていくのではないかと思う。

(事務局) いただいたご意見を参考にして事務局で再度検討する。

(佐々会長) 意見一覧2ページのNo.25アレルギーのある子どもの栄養指導について、資料5の第4章に入れてあるということだが、アレルギーを持っているお子さんの保護者からすると、その文言が書いてあるかどうかによって、相談しやすいかしくいかという重要な要素だ。アレルギーについて入れていただくとありがたい。

(事務局) 事業内容の記載について、再度検討する。

(委員) 意見一覧2ページのNo.28ハザードマップと危険回避の情報について、携帯電話の情報提供メールへの登録は、若い母親にとって個人情報登録することに対する拒否感がある。ほとんどの方が登録をしていないので、近くで犯罪があっても情報を

知らなかったり、光化学スモッグの注意報も知らずにアレルギーで悩んだりしている。学校だと個人個人のパスワードを登録したりしている。このハザードマップと危機回避の情報について、何件くらいどの世代の登録があるのか。

(事務局) 担当課の秘書広報課に確認する。

(佐々会長) 保育園や幼稚園はどうなっているのか。

(委員) 個々の保育園や幼稚園で登録して、情報を提供している。

(佐々会長) 公的な機関から園に、園から個々の保護者の方に情報が伝わるような手段があった方がいい。

・第4章「計画の内容」について

○事務局より、第4章「計画の内容（基本計画）」について、意見に基づく修正及び平成26年度次世代育成支援行動計画実施状況についての説明があった。

※資料4、資料5

(事務局) 資料5、15ページの89項の昨年度と今年度の研究課題は確認中。同15ページの92項について、「適応指導教室」に訪問があるかどうか確認中であるが、91項「教育相談室」であれば、訪問は行っている。同17ページの99項「青少年健全育成講演会」について、生涯学習の報告書を見ても載っておらず、現在確認中である。同24ページの131項「養育家庭への支援活動のPR普及」について確認中である。同26ページの137項「特別支援教育支援員」について、確認中である。同26ページの138項「特別支援学級」について確認中である。

【質疑応答】

(佐々会長) 資料5、16ページの95項「幼稚園、保育所及び小学校との連携」について、現在は各幼稚園や保育所で行っていて、市としては行っておらず、平成27年度から実施するという説明だったが、平成27年度から実施するというのであれば、この計画に盛り込んでいかななくてはならない。各園が小学校に行くだけではなくて、色々足りないことが出てきていることへの方策、どのように実施するかという策を盛り込む必要がある。方策については、いつごろ、どのようにして出てくるのか。

(事務局) 3課にまたがるものなので、時間をいただきたい。次回までには出させていただきます。

(佐々会長) この施策は、育ちの連続線上で重要な課題である。どのように市が推進していくのか、各園に任せていればいいということではない。保育所の側からは保育要録、幼稚園の側からは幼児要録を小学校に提出することになっているが、私立の幼稚園の場合、市の側もあまり把握していないということもある。これらの書類は公的なもので保存も義務づけられており、単に子ども達が互いに訪問し合うということではなく、公的な文書の行き交いということについて、どのように連携するかは、大変重要な要素だと思う。

また、連携については学童のことをどう組み入れていくのか。ここでは幼稚園、保育所及び小学校との連携や接続のこととなっているが、実務的には小学校のなかでの子ども達が学童に通うということだと、学童との連携についても考えていくことが必要になる。

(委員) 前の資料では事業のNo. を項目番号に変えるということだが、資料5の第4章も同じか。また、資料5、14ページや15ページで、事業の見出しに小中学校と書いておきながら、説明では市立小中学校となっていて統一が取れていない。正式に使用している事業名は変えられないと思うが、事業内容は変えることができるのではないか。また、学童クラブについて、保護者の方から、対象を小学校6年生までと、時間延長して欲しいという要望が出ていて、他の自治体では午後7時まで行っているところが多いと聞いた。武蔵村山市ではそういった話は出ていないのか教えていただきたい。また、意見一覧3ページのNo. 40「市立学校校内研究奨励事業」の昨年度と今年度の研究課題について、教育委員会に確認するという回答があったが、これは無理ではないか。各小中学校で各々研究課題が違うので、統一見解はでない。各々の学校に確認して出せるのか伺いたい。

(事務局) 項目番号や文中の文言の表記については全体を通して見直し、統一を図りたい。学童クラブの時間延長について、父母会から意見をいただいた。意見一覧3ページのNo. 56の後半部分に、父母会からいただいた意見を掲載している。児童館の閉所時間延長については、具体的には決まっていない。今年度の7月から夏休みの長期休暇中の開所時間を、従来の午前8時から30分前倒しをして、午前7時30分から受け入れるようにした。

(佐々会長) 小学校の研究課題について、それぞれの学校で東京都の研究事業として実施する場合は、大々的に実施している。各学校がどのような取り組みをしているか、保護者にとっても関心のあることだと思う。

大々的に申請して取り組むというのあれば、それぞれまた違うものもあるのだろうと思う。しかし、大きく小学校教育においてとか、中学校教育においてとか、推進するのはこうだというのがあって、そのことを把握することはそんなに難しくないと思う。

(委員) 東京都で、研究の指定校に指定された学校は、研究課題がきちんと出てくるが、小中学校の研究課題というのは、各々が異なるが、大きな柱は見ることはできる。その大きな柱を見ることによって全体的に市内全体の教育目標を把握できる。

(佐々会長) 実際に実施したことの実績はあると思うので、それがどのように変わったのかを情報として知っていてもおかしくないだろうと思う。東京都からの研究指定校として実施している学校があるのであれば、その研究事業が武蔵村山市だけではなく、都内のなかにも影響を与えるし、教育全体のことの一つの目安にもなる。

(事務局) 教育委員会に確認し、できる範囲で把握したい。

	<p>(委員) アレルギーを持ったお子さんの学校給食についての対応はどうなっているのか。事故が起こると大変な問題になるので、アレルギーをお持ちのお子さんを育てている親御さんのために、計画のどこかに学校給食のアレルギーへの対応を明記して欲しい。</p> <p>(事務局) 各学校の対応を把握して、新規事業とするか、別の事業の内容に加えるかを検討させていただきたい。</p> <p>○事務局より、新規に掲載する事業についての説明があった。</p> <p>(事務局) 新規に掲載する事業の資料をお配りしたが、これについては、次世代育成支援行動計画後期計画が始まってから開始された事業や、前回策定時に掲載されなかった事業である。今回の計画に掲載するかどうかについてのご意見を、次回会議でいただきたい。</p> <p>(佐々会長) 保育所も大変細やかな対応が求められているので、保育所も含めて入れていただくことが必要。</p> <p>(委員) 家庭的保育は現在市内に1箇所実施されているが、事業を実施している方は事業の継続について悩んでいると聞いている。それなのに平成27年度の目標が10箇所というのは、どういうことか。</p> <p>(事務局) 現行の次世代育成支援行動計画の目標は10か所となっているが、資料5、3ページでは、平成31年度の目標を継続1箇所として掲載している。委員のおっしゃられた内容については、こちらも把握しており、現在対応しているところである。</p> <p>(佐々会長) 小規模保育や家庭的保育は実施して間もないということであれば、事業者本人が想定していなかった大変さがあったりする。そういうことに対するサポート体制がなければ、実施に向けられない。1箇所といっても現在の事業者が継続するか、別の事業者になるかということも起こりうる。家庭的保育を実施するのは事前の研修も必要であり、サポート体制や、事業者が具合が悪くなったとき等の対応を含めて考えていかないと、難しいと思う。</p> <p>4 その他</p> <p>○事務局より、次回開催日程について連絡</p> <p>(事務局) 次回は9月19日(金)14時から開催したい。</p> <p>5 閉会</p>
--	--

<p>配布資料</p>	<p>○第8回子ども・子育て会議の会議録・・・・・・・・・・資料1</p> <p>○妊婦健康診査等について・・・・・・・・・・資料2</p> <p>○子育てに関する主な関係機関及び関係団体・・・・・・・・・・資料3</p>
-------------	---

	<p>○平成26年度次世代育成支援行動計画実施状況・・・・・・・・資料4</p> <p>○第4章 計画の内容（基本計画）・・・・・・・・資料5</p> <p>○（仮称）武蔵村山市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見一覧</p> <p>○新規に掲載する事業</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/>公開 <input type="checkbox"/>一部公開 <input type="checkbox"/>非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>()</p>	傍聴者： 0 人
-------------	---	----------

会議録の開示・非開示の別	<p><input type="checkbox"/>開示 <input type="checkbox"/>一部開示(根拠法令等：) <input type="checkbox"/>非開示(根拠法令等：)</p>
--------------	--

庶務担当課	健康福祉部 保育課（内線：182）
-------	-------------------

(日本工業規格A列4番)